

編集後記

同窓会誌第3号をお届けします。年に一度の発行ですが、過ぎてみればあっという間で、もうそんな時期かと月日の流れの速いことに驚かされます。一年という時間の流れがとにかく速い。

子川上に在りて曰く、
「逝く者は斯くの如きか。昼夜を舍かず」

皆さんの時間の流れはいかがですか。

さて、この一年を振り返ってみると、去年は台風の被害が大きかったですね。私事にわたって恐縮なのですが、西宮在住の娘のマンションの屋根が去年の台風20号の折に吹き飛ばされ、立体駐車場の上に落下するという災害が起こりました。この台風にも驚かされたのですが、この後の台風21号は戦後最大と言われるほどすさまじいものでした。数学教室でも桜の木がなぎ倒されるなど、普段では考えられないような被害がありました。京都大学全体でも、あちこちに倒木の無残な姿が散見されました。京都ばかりでなく各地に災害の爪痕を残しました。これに限らず、地球温暖化の影響による異常気象が各地で発生しています。温暖化対策はこれから真剣に取り組まなければならない重要な課題であることは間違いないですね。

いろいろ暗いニュースも多いのですが、今回も同窓会誌にはたくさんの記事が寄せられました。記事を書いて下さった方に厚くお礼申し上げます。内容は勢い昔の話が多いですが、何かのんびりして懐かしい気分させられます。微笑ましくなるような話も多いですね。皆さんからも小さなことでよろしいので、こんなことがあったあんなことがあったというようなことをどしどしお寄せください。

会員の皆様のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

(編集長 重川 一郎)